



古典から現代まで、幅広いレパートリーを誇るベルギーのカルテット
2005年以来12年ぶりの新潟公演



©Marco Borggreve

ダネル カルテット

Quatuor Danel

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調 op.59-1「ラズモフスキー第1番」

L.v.Beethoven: String Quartet No.7 in F Major, Op.59, No.1, "Rasumovsky No.1"

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131

L.v.Beethoven: String Quartet No.14 in C-Sharp Minor, Op.131

2017年9月28日(木) 19:00

リョーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata-City Performing Arts Center "RYUTOPIA" Concert Hall

- チケット / S席3,500円 A席3,000円 ■チケット発売日 / N-PAC mate(友の会)6/17(土) 一般6/23(金)
- チケットお問い合わせ・お申し込み / リョーとぴあチケット専用ダイヤル TEL:025-224-5521 (11:00~19:00休館日は除く)
- チケット取り扱い / リョーとぴあ / 新潟伊勢丹 / セブン-イレブン(セブンチケット<http://7ticket.jp/>)

※インターネットでもチケットをお求めいただけます。リョーとぴあオンライン・チケット<http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

主催 / 公益財団法人新潟市民芸術文化振興財団 企画制作 / リョーとぴあ事業企画部

招聘 / 札幌コンサートホール(公益財団法人札幌市民芸術文化財団) 協力 / コンサートホール企画連絡会議

ダネル カルテット

Quatuor Danel

ダネル・カルテットで聴くベートーヴェン

2005年以来2度目の新潟公演となるベルギーの弦楽四重奏団「ダネル・カルテット」。1991年ブリュッセルで結成。1993年サンクトペテルブルクのショスタコーヴィチ国際弦楽四重奏コンクール第1位。94年ロンドン国際弦楽四重奏コンクールで第3位。95年エヴィアン国際弦楽四重奏コンクールで第2位など、名だたるコンクールで優秀な成績をおさめ、結成直後からその演奏は国際的な評価を得ています。古典から現代曲まで幅広いレパートリーを持つグループですが、特にショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲には定評があり、全曲録音も行っています。伝統的な弦楽四重奏曲に新たな視点から生気を吹き込む演奏は各方面から称賛されています。

「芸術には、人を変える力がある。」 (ベートーヴェン)

「ハイドンの手から、モーツァルトの精神を受け取り給え」と、ヴァルトシュタイン伯爵から饞(はなむけ)の言葉を贈られたベートーヴェン。彼は金字塔的とも言える一連の重要な弦楽四重奏曲群を作曲し、おそらく西洋室内楽史上で最も大きな影響を与えた、時代を先駆ける存在であったと言えるでしょう。

今回取り上げる2つの弦楽四重奏曲は、時代の先を見通したベートーヴェンの息吹が現代にも息づくことを示しています。難聴に見舞われたベートーヴェンは「ハイリゲンシュタットの遺書」を記して自殺も考えましたが、芸術家としての信念に突き動かされて、全く新しい音楽を生み出しました。その音楽は、大胆で、力強く、彼のこれまでの作曲技法や、古典的な手法を捨て去って創造したものでした。「第7番へ長調op.59-1《ラズモフスキー第1番》」はロマン主義の扉を開きました。その曲は信じられないほど新しく、音の広がりがあり、壮大な精神を秘めた「交響的弦楽四重奏曲」と言えます。

ベートーヴェンは「ガリツィン・セット(第12番、第13番、第15番)」を完成させた後、人生の終盤に「第14番嬰小短調op.131」を書き上げました。この特別な弦楽四重奏曲は彼の楽曲の中で最も深遠で、恐らく最も印象的かつ新しい形のひとつでしょう。フーガで始まり7つの楽章が展開し、あたかも40分もの長いクレッシェンドであったかのような素晴らしいラストで最高潮に達する作品です。

皆様にとって、このプログラムとの出会いは、比類のない体験になること
でしょう。(マルク・ダネル)



ダネルカルテット Quatuor Danel

マルク・ダネル(ヴァイオリン) Marc Danel, violin

ジル・ミレ(ヴァイオリン) Gilles Millet, violin

ヴラッド・ボグダナス(ヴィオラ) Vlad Bogdanas, viola

ヨヴァン・マルコヴィッチ(チェロ) Yovan Markovitch, cello

1991年ベルギーのブリュッセルで結成。アマデウス弦楽四重奏団、ゴロディン弦楽四重奏団、ベートーヴェン弦楽四重奏団等のもとで学ぶ。結成後数年で国際的に活躍の幅を広げ、93年サンクトペテルブルクのショスタコーヴィチ国際弦楽四重奏コンクール第1位、94年ロンドン国際弦楽四重奏コンクール第3位、95年エヴィアン国際弦楽四重奏コンクール第2位及び国際プレスの審査員特別賞を受賞。世界各地の主要なコンサートでの演奏、一連の画期的なCD録音などにより、常に世界の音楽シーンを先導する。また、リーム、ラッペンマン、グバイドゥーリナ、デュサバン、ヴィットマン、マントヴァーニといった主要な現代作曲家とのコラボレーションも彼らの強みである。

コンサートは、ウィグモアホール(ロンドン)、コンセルトヘボウ(アムステルダム)等ヨーロッパをはじめ東京、ニューヨークなど世界各地に及ぶ。また、オールドバラ(イギリス)、クフモ(フィンランド)、ルツェルン(スイス)、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン(ドイツ)など各地のさまざまな音楽祭に招かれ演奏している。

レパートリーは幅広く、これまでにハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、ショスタコーヴィチ、ワインベルクの弦楽四重奏曲のチクルスに取り組んだほか、クセナキスの最後の弦楽四重奏曲のフランス初演をおこなった。2005年にリリースしたショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全曲録音は画期的な解釈のひとつとして今なお評価されている。さらに、ショスタコーヴィチの友人としても知られるワインベルクの17の弦楽四重奏曲の録音に世界に先駆けて挑戦し、注目を集めた。

若手音楽家の教育活動にも熱心で、05年からマンチェスター大学の専属カルテットとしてセミナーやマスターコースに参加しているほか、15年からは、オランダ弦楽四重奏アカデミーでも定期的に指導に当たっている。また、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)、メリーランド大学、国立台北芸術大学、リヨン国立高等音楽・舞踊学校、リール音楽院などでもコースを担当。

◆チケットご購入の際のご注意

- *コンサートの性格上、未就学児の同伴はお断りしています。小学生以上はチケットが必要です。
- *お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- *事情により、演奏曲目が変更されることがあります。
- *車椅子席はチケットご購入時にお申し出ください。(りゅうとびあのみで取り扱います)

◆サポートシステムのご案内(お申し込み/りゅうとびあチケット専用ダイヤル 025-224-5521)

- *託児室:公演日2週間前までにお申し込みください。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。対象/生後6ヶ月以上~小学校2年生まで 託児料/未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円
- *公演日前1週間を過ぎてもキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。
- *難聴者赤外線補聴システム:予めお申し込みください。

■白山公園駐車場のご案内



- 白山公園駐車場A,B,C,D合わせて約580台
- *身障者用駐車スペースを用意しております。
- **りゅうとびあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は上記の白山公園駐車場(有料)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

■会館のご案内



- 新潟駅万代口より車で15分
- 関越自動車道/磐越自動車道新潟中央ICより車で20分
- 新潟駅万代口よりバスで15分~20分
- 高代橋ライン(BRT)青山方面行「市役所前」下車 徒歩5分
- 新潟空港より車で30分